

単元名: 韓国の家に泊まろう																																	
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー																												
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-																												
話題分野	自分と身近な人びと	言語レベル	1	必要時間数	10時間																												
I 単元目標																																	
ソウルへの研修旅行で、交流相手の高校生やホームステイ先で自分や家族のことを話題に交流することができる。帰国後お礼のメールを書いたり、ホストファミリーについてクラスで発表することができる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>言語</th> <th>文化</th> <th>グローバル社会</th> <th>学習者</th> <th>教室外</th> <th>他教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わかる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>できる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td></td> <td>😊</td> </tr> <tr> <td>つながる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる	😊	😊	😊				できる	😊	😊	😊	😊		😊	つながる	😊	😊				
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる	😊	😊	😊																														
できる	😊	😊	😊	😊		😊																											
つながる	😊	😊																															
言語領域	文化領域	グローバル社会領域																															
<ul style="list-style-type: none"> ◆韓国語で必要事項を書き込んだ名刺を作ることができる。 ◆初対面の挨拶をし、名前を言いながら、名刺交換をすることができる。 ◆自分のことや自分の家族について、職業(何をしているか)などを写真を見せながら紹介することができる。 ◆自分の好きなことや、食べ物、芸能人について話することができる。 ◆お互いのメールアドレスを交換することができる。 ◆先にもらった名刺の中からメンバーを探して、確認をすることができる。 ◆ホストファミリーについて韓国語で説明したポスターを作って、発表することができる。 ◆初対面の相手に自分のことについて表現し、相手を理解しようとすることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) ◆「時と場に応じて、的確に自己紹介をすることができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆非言語行動も含め、韓国人の挨拶の仕方を観察し、日韓の挨拶の仕方が違うものについて、背景や意味を考える。 ◆家族内の呼称や家族(目上)に対することばの使い方などを理解し、日本の家族との関係と比較して異同に気づくことができる。 ◆自己紹介における情報開示の程度(家族、友人関係など)を比較し、異同に気づき、その背景について考えることができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆スクラップブックやポスター作り(ITツールを活用することができる。(情報活用)) ◆メールアドレスをデジタル管理し、写真データや資料を添付して送るなど、メールを効果的に、効率的に使うことができる。(情報活用) ◆現代社会における家族の役割について考えることができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>																															
コミュニケーション能力指標	<p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-a. 名前(姓名)や属性(高校生、学年、年齢、誕生日など)を、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-b. 家族構成(何人家族で誰がいるか)について、会話したり、書いて説明したりできる。</p> <p>1-c. 簡単な自己紹介(姓名、学校、学年、年齢、誕生日、干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など)を、口頭でまたは書いてすることができる。</p> <p>1-d. 携帯番号やメールアドレスを、口頭で伝え合うことができる。</p> <p>1-e. (自分やクラスメート、先生などの)名前を、ハングルで書いたり読んだりできる。</p> <p>【食】</p> <p>1-k. 自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないもの、食べないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。(趣味と遊び)</p> <p>1-c. どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる。</p> <p>1-d. 好きな有名人の名前や職業などを、口頭で紹介しあうことができる。</p>																																
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>																																
II 評価																																	
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
<ul style="list-style-type: none"> ◆必要事項を盛り込んだ名刺を作る。(情報の適切さ・正確さ・分かりやすさ・配列・デザイン等) ◆名刺を使って自己紹介のロールプレイをする。(発音の正確さ、伝えようとする態度) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆自分、自分の家族を紹介したスクラップブックを作る。(独創性、分かりやすさ) ◆写真を添付したお礼のメールを書く。(表現の適切さ、分かりやすさ) ◆ホームステイ報告のプレゼンをする。(プレゼンの内容、仕方、言語表現の正確度等) ◆ホームステイ報告のポスターを作る。(構成の独創性、分かりやすさ、情報量等) 																														

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆名刺カードに自分の名前を書き、初対面のあいさつをしながらじゃんけんで勝った人が相手のカードをもらう。【1-e】</p> <p>◆必要事項(名前、学校、誕生日、好きなものなど)を書き込んだ名刺を作り、それをもとにペアになって2分間自己紹介をする。片方は聞き役になり、時間がきたらクラス全員に向かって相手の紹介をし、質問に答える。【1-a,c,e】</p> <p>◆韓国のドラマをみながら、登場する家族の名前と主人公との関係をハングルで埋めて家系図を作り、日本と比べてみる。【1-b】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> A高校で韓国語を学習している生徒は、学習開始から半年して韓国に研修旅行に行くことになっている。旅行の二日目にはソウルの高校の生徒と一日一緒に行動することになった。</p> <p><活動の流れ> 出発前に、韓国語で必要事項を書き込んだ名刺に必要な枚数を作る(デジタルでの作成可)。名刺を使って韓国語で自己紹介する復習をしたり、韓国での名刺交換の礼儀などを学ぶ。自分の趣味や好きな食べ物の話をするために必要な表現や語彙を調べ、それを使って説明する練習をする。写真やその他の資料を使い、自分や自分の家族を紹介したりするため、スクラップブックを作る(デジタルでの作成可)。</p> <p>旅行二日目、まず全員で初対面の挨拶をし、名前を言いながら名刺交換をする。グループに分かれて、グループメンバー同士で再度挨拶と自己紹介をし、先にもらった名刺の中からメンバーを探して、確認をする。夜には、グループメンバーの家にホームステイするため移動し、メンバーの家族に会う。自分のことや自分の家族について、職業(何をしているか)などを写真を見せながら紹介する。自分の好きなこと、食べ物や芸能人、誕生日などについて話をする。一緒に写真を撮り、お互いのメールアドレスを交換する。</p> <p>帰国後、写真を添えてお礼のメールを送る。クラスでは、韓国旅行で会ったホームステイの家族について韓国語で説明したポスターをそれぞれ作り、クラスの壁に貼って、旅行の思い出を発表する。</p> <p>ヒント☞ ◆韓国にホームステイすることができない場合は、韓国の高中生とその家族(情報をカードに書いておく)を決め、グループで教室内でロールプレイを行う。 ◆クラスで発表後、全員が作成したポスターなどを合わせて旅の文集を作り、韓国の交流校に送る活動をしてよい。</p>	
<使用教材・教具> 名刺カード、パソコン、スクラップ用ノートまたはファイル		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 안녕하세요? /안녕하십니까? /만나서 반갑습니다. /이름이 뭐예요? /저는 이토 와타루라고 합니다. /이름을 써주세요. /일본 나이로 17살이에요. /몇 학년이에요? /생일이 언제예요? /가족(형제 나이)이 어떻게 돼요? /아버지랑 어머니랑 누가 있어요. /집이 어디예요? /어디에 살아요? /사는 곳이 어디예요? /한국 음식은 무엇을 좋아해요? /취미가 뭐예요? /핸드폰 번호(이 메일 주소)를 가르쳐주세요.</p> <p><表現のポイント> 무엇(뭐)、몇、어디、어떻게、언제などを使った疑問文 /—입니다 /이에요 /예요 /—(이)라고 합니다 /—(으)세요 /—아·어·여 주세요 /안— /좋아해요 /싫어해요 /있어요 /없어요 /漢数字 /이·가 /은·는 /을·를 /에 /(으)로 /(이)랑 /하고</p>	<p>가족、어머니、아버지、언니、오빠、누나、형、동생、할머니、할아버지、중학생、대학생、회사원、주부、아르바이트、댄스、스포츠、노래、가수、배우、드라마、애니메이션</p>	<p><事象> ◆あいさつの仕方 ◆家族内の呼称や家族関係 ◆自己紹介時の自己開示の深さと広がり ◆家族の役割</p> <p><事象のポイント> ◆非言語行動も含め、韓国人の挨拶の仕方を観察する。日韓の挨拶の仕方が違う場合、どうするか考える。 ◆家族内の呼称や家族(目上)に対することばの使い方などを観察し、自分の家族との関係と比較して異同に気づく。 ◆家族や友人関係など、どこまで自己紹介で触れるかを比較し、異同に気づく。 ◆特に少子高齢化や核家族化が進み、また人びとの関係性が希薄だと言われている現代社会において、家族の役割は何かについて考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繫		他教科の内容との連繫
韓国の高校生、韓国でホームステイ		なし